

車検・修理時 リクエスト・チェック表

check	Parts name		comment
	ワイパーブレード		雨天走行時の視認性の悪化と共に雨水の弾き具合はストレスの原因となってしまう。交換目安は1年です。吹き残しが出始めたら早めに交換してください。
	エンジン オイル		エンジンオイルの劣化は、エンジン内部の磨耗や焼付を起こす原因です。新車時10年以内であれば5千kmを目安に10年以降は3千kmを目安に交換してください。
	オイルフィルター		エレメントの詰まりはエンジンの耐久性を著しく低下させてしまいます。エンジンオイル交換と同時に行ないます。エンジンオイル交換2回に1度の交換をお勧めいたしております。
	タイヤ		タイヤの溝がなくなるともちろんスリップの原因になり非常に危険です。片側り又はスリップサインがでたら、すぐに交換してください。
	ブレーキローター		ディスクの磨耗消耗はブレーキの放熱効果を低下させペーパーロックを起こす原因になりますので定期的に変換してください。
	ブレーキパッド		ブレーキパッドが限界近くなるとメーターパネルに警告等が点灯しますので、点灯したら、ブレーキローターを傷つけてしまうので直ぐに交換してください。
	ブレーキ オイル		水分を吸収し劣化することにより、ブレーキオイルの沸点が下がってしまいペーパーロックを起こす恐れがあり危険です。ブレーキオイルは2年ごとの車検時を目安に交換してください。SBCの場合は1年ごとの交換をお勧めします。
	エアークリーナーエレメント		エレメントの目詰まりにより燃費の消費が多くなり、またエンジン不調などの原因になりますので、車検時に汚れを目安に交換してください。
	ダストフィルター		フィルターの目詰まりにより、エアコンの噴出量が減少し、エアコン機能が低下します。排気黒煙等が多い都市部では2年ごとに交換することをお勧めします。
	フェールフィルター		フィルターの詰まりはエンジン不調や加速性の低下原因になります。2000年以前の車両は2年ごとそれ以降は4年ごとに交換してください。
	スパークプラグ		消耗したプラグを使用していると、燃料の無駄使いはもちろんのこと、エンジン不調や始動性を損ないます。2~3万Kmごとに交換してください。イリジウムプラグは理論上8万Kmですがエアマス等にトラブルがあった場合は修理同時交換をお勧めします。
	ファンベルト		ファンベルトが揺れていると、突然切れて走行不能やオーバーヒートの原因となります。ゴムの劣化は見た目でも判断出来ますので磨耗・損傷・異音が見られる場合交換してください。
	クーラント		エンジンのオーバーヒートを防ぐ能力、防錆、不凍効果が低下してしまいますので、2000年以前の車両は2年ごとそれ以降は3年ごとに交換することをお勧めします。

MEMO